

事前評価書

年度	R2
整理番号	

事業名・路線名等	道路改築事業 主要地方道 豊後高田安岐線（三宮工区）		事業主体	大分県
所在地	豊後高田市田染上野～杵築市大田沓掛			
事業概要	事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現道拡幅や一部バイパスを整備することで、線形不良及び幅員狭小を解消し、走行性、安全性の向上を図る ・ 防災上の安全性の向上 ・ 県北地域から大分空港へのアクセス向上及び緊急輸送道路の機能向上を図る 		
	事業内容	<p>【計画延長・幅員】 L=930m (BP+現拡)、W=6.0 (9.75) m</p> <p>【道路区分】 第3種第3級 【設計速度】 V=50km/h 【計画交通量】 1,814台/日（令和12年度）</p> <p>【現況幅員】 W=6.0～12.7m</p> <p>【交通量】 1,862台/日（平成26年1月 実測）</p>		
	事業費	C = 820百万円		
事業の実施計画	完成予定年	着手から8年（令和10年度）		
	事業段階毎の実施計画	<p>1年目 道路詳細設計、測量、関係機関との協議（1、2工区）、用地測量（1工区）</p> <p>2年目 用地買収（1工区）</p> <p>3年目 道路工事（1工区）</p> <p>4年目 道路工事（1工区）、用地測量（2工区）</p> <p>5年目 用地買収（2工区）</p> <p>6年目 道路工事（2工区）</p> <p>7年目 道路工事（2工区）</p> <p>8年目 道路工事（2工区） 完成</p>		
事業の必要性	必要性・緊急性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 線形不良、幅員狭小により通行車両の走行性、安全性が低い（R<70m：3箇所、幅員狭小：L=540m） ・ 現道は落石の危険性が高い ・ 県北地域と大分空港を結ぶアクセス道 		
	整備効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 線形不良、幅員狭小の解消により通行車両の走行性、安全性の向上 ・ 緊急輸送路としての機能向上 ・ 県北地域から大分空港へのアクセス向上 ・ 落石など防災上の安全性の向上 		
事業手法・工法の妥当性	費用便益分析	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通行困難区間の解消（一次改築）のため、防災面・交通安全の観点から評価【参考B/C=0.24】 		
	工法の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道路法、道路構造令等に適合した工法を採用 ・ 複数案の比較検討を行い、最も経済的なルートを選定 		
	コスト縮減	<ul style="list-style-type: none"> ・ アスファルト、砕石は再生材を利用 ・ 建設発生土を盛土材に利用 		
	環境等への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国東半島県立自然公園や旧田染荘域に位置するため、関係機関（自然保護推進室・豊後高田市）と協議し自然環境や景観に配慮する。 ・ 地形改変を最小限に止め、事業地内で土量の収支を図る 		
事業実施環境	事業の実効性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 豊後高田市、杵築市から要望書が提出されている。 ・ 地元自治会も整備を望んでおり、地元の協力体制は整っている。 		
	事業の成立性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「安心・活力・発展プラン2015(2020改訂版)」、「おおいた土木未来プラン2015(改訂)」、大分県長期道路整備計画「おおいたの道構想2015」に基づき事業実施 ・ 道路法第15条に基づき事業を実施 ・ 社会資本整備総合交付金交付要綱に規定された事業内容、採択基準の要件に適合 		
	事業の特殊性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大分空港へのアクセス道路であることから、交通渋滞に配慮した施工計画の立案 		
対応方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ 以上のとおり事業の必要性が認められることから、本事業を実施したい。 			

事業箇所位置図

